

# おしゃべり・かわら版

2019年  
5月号  
発行日/2019年4月29日  
Vol.206

## おしえて!おしえて!

### 減塩食のレシピ

主人が腎臓の検査をするので、これから塩分を気にしながら調理しなければなりません。おいしく食べられる減塩食のレシピをおしえてください。

〔日光センター  
組合員さん〕

### 氷菓キャンディーの 汚れない食べ方

氷菓キャンディーをハサミで切ってティッシュに包んで子どもに食べさせていますが、床やテーブルが凄いいことになりました。汚さずに食べられる方法があったらおしえてください。

〔日光センター  
組合員さん〕

### かんぴょうのレシピ

かんぴょうを味噌汁や卵とじにしておいしく食べています。他のかんぴょうを使ったレシピをおしえてください。

〔足利センター  
組合員さん〕

### 味が付いていない 冷凍魚の調理法

味付けされていない冷凍の魚を、おいしく食べる方法をおしえてください。

〔日光センター  
組合員さん〕

### まいたけは どこまで食べられますか

まいたけの根元が食べられるのかわからず、いつも捨てています。まいたけはどこまで食べられますか。

〔西那須野センター  
F.Sさん〕

## おしえてあげちゃいます!



※今回「運動会のお弁当のおすすめメニュー」「りんごのかわいい剥き方」「洗った運動靴を短時間で乾かす方法」(2019年3月号に掲載)には声が寄せられませんでした。

### チョコレートを使ったお菓子のレシピ (2019年3月号に掲載)

- 「CO・OPファミリーチョコレート」100g位を耐熱ボウルに入れ、電子レンジで1~2分様子を見ながら溶かします。溶けたらグラノーラやナッツを入れてクッキングシートに平らに伸ばし、冷蔵庫で固めます。好きな大きさに割って食べてください。
- ホットケーキミックス200g、溶かしたバターかマーガリン50g、砂糖50g、卵2個、牛乳少々を混ぜておきます。そこに小さく切り電子レンジで加熱したさつまいもと、好みの大きさに割ったチョコレートを入れ型に流して、170℃に熱したオーブンで35分焼きます。バナナとりんご等何でも合います。

(足利センター カヨさん)

材料は板チョコとプレーンのコーンフレークです。作り方は板チョコを湯せんで溶かします。その中にコーンフレークを入れて混ぜます。お菓子用のしっかりしたカップ等に入れて冷まします。とっても簡単ですがおいしいです。子どもが幼稚園の時「チョコレートパーティー」で毎年作っていました。卒業して5年経ちますがおいしいので今でも時々作ります。

(足利センター じゅんじゅんさん)

チョコレートを湯せんで溶かしておきます。

- 棒状の手作りチョコパイは娘のバレンタインの友チョコに人気です。冷凍パイシートを常温で戻して少し伸ばし、横長に4等分します。溶かしたチョコレートをたらして半分に包み、フォークで周りを押さえます。170℃に熱したオーブンで20分焼いたらできあがりです。
- プレーンのコーンフレークと合わせて、チョコレートコーンフレークにします。おかずカップに入れて、お友達にプレゼントすることもできるし、おやつにもなります。
- ナッツをからめて、チョコナッツにしておやつになります。

(足利センター ちーちゃん)

### 子どもが作った作品等の片づけ方法 (2019年3月号に掲載)

子どもが学校から持ち帰ったら、まず「よくできたね〜」と具体的にほめた後に写真を撮ります。子どもに持たせて撮れば、後で見返した時に作品と子どもの成長が一緒に見られてよいです。しばらくは飾ったり、子どもの部屋の壁に貼ったりしています。作品展等の大作は、階段の壁に絵画のように飾っています。いっぱいになったら、古い物から少しずつ処分していきます。処分しても写真は残っているので大丈夫です。

(小山センター ひまなつさん)

### はちみつの利用法 (2018年1月号に掲載)

調味料として使います。はちみつには種類があるので、好みによって選んでください。

- 煮物  
私はいも類やかぼちゃを煮る時に砂糖を控え、はちみつか黒糖を入れています。
- 煮魚  
煮物同様に調味料として使います。特に鮭のカマの甘露煮は、砂糖とはちみつ合わせて3、みりん2、酢1の割合で入れて、コトコト煮ます。照りとコクが出て骨まで食べられます。
- いなり寿司の油揚げ煮も砂糖、みりん、しょうゆ、はちみつ、酢等でコトコト煮ます。
- ジャム  
特にりんごの場合は、砂糖を減らしはちみつを入れて、甘さを調節しながら焦げないように弱火でコトコト煮詰めていきます。レモン汁がない時は酢を入れるといいです。
- 牛乳200mlにきな粉20gとはちみつ大さじ1を混ぜて飲みます。ヨーグルトも同様にきな粉とはちみつがおいしいです。

(小山センター はしゆうさん)

※はちみつは1歳未満のお子様には与えないでください。

## きいて!きいて!

おしゃべり・かわら版2019年3月号の「おしゃべりの場から」を読んで

「なんちゃってコロッケ」私も肉じゃがを作りすぎてしまった時に、パン粉を付けてコロッケにしました。主人は気が付きませんでしたよ。エヘン。

(日光センター しゅう君ママさん)

おしゃべり・かわら版2019年1月号「年配でも簡単に手作りできるレシピ」を読んで

日光ブロックの方々の「火を使わない簡単レシピ」とおしゃべり・かわら版のおいしいレシピ、とても参考になります。この年になってからも若い方からおしえられます。ありがとうございます。(日光センター F.Kさん)

亡くなった姑から受け継ぎ、生協を利用して18年経ちましたが、ただただ便利でありがたいの気持ちです。夫も15年前に亡くなり全くの一人暮らしですので、生協に頼りっぱなしです。品物には安心してますし、何か起きて電話をした場合、対応の早さと優しさの気持ちが伝わり、嬉しい限りです。皆さんにおすすめしています。かわら版を利用してお礼と感謝を書かせていただきました。私、90歳の老婆です。

(日光センター N.Tさん)

# 2019年度とちぎコープが助成を行う、県内のNPO法人をご紹介します

「社会貢献基金」をもとに、毎年栃木県内で活動しているNPO法人への活動助成を行っています。2018年度も「とちぎコープNPO法人助成金規則」にもとづき、有識者5名からなる審査委員会が慎重に審査を行い、2019年度に助成を行うNPO法人38団体を決定しました。各団体の活動内容をご紹介します。

| 名称(所在地)                                   | 活動内容  |
|---|---|
| <b>子育てほっとねっと</b><br>(那須塩原市 2012年2月設立)     | 地域において地域の人の手による子育て支援と子育てネットワークづくりを行い、世代をこえた交流を通し、子育て中の家族が安心して生活できる地域づくりを目指しています。市の委託を受けファミリーサポートセンター、親子つどいの広場の運営を行っている他、自分達に必要と思うものは自分達で作り出していこうと、自主事業として月2回子ども食堂を開催しています。また、昨年、新たに家庭訪問型子育て支援「ホームスタート」を開始しました。  |
| <b>すくすく子育てやぎハウス</b><br>(那須塩原市 2017年2月設立)  | それぞれの家庭の中で様々な困難を抱え子育て支援を必要とする子どもと親のために、放課後利用できる「やぎハウス」を運営しています。「やぎハウス」では小中学生を対象に、自宅や学校から送迎を行い、食事の提供・学習支援・入浴・洗濯・親の悩み相談を行う「児童放課後支援事業」、家庭での養育が一時的に困難になった場合に短期間子どもを預かる“一時保育事業”、地域養護力の向上を目指し、地域の誰もが利用できる居場所を提供する“子育て支援を必要とする人の交流及び居場所提供事業”を行っています。         |
| <b>和音</b><br>(日光市 2004年5月設立)              | 子どもが安心して過ごせる放課後児童クラブの運営を行っています。子ども一人ひとりの発達段階に応じた育成支援を、支援員全員が専門職としての意識を持ち日々取り組んでいます。また、様々な体験や地域とのふれあいを通し、子ども達が健全に、心豊かに育つ環境づくりを進めています。  |
| <b>だいじょうぶ</b><br>(日光市 2005年8月設立)          | 虐待や貧困、親の病気などで、家で安心して暮らせない子どもがいます。その子どもと家族に寄り添い、相談に乗り、家事や育児、生活支援を行っています。市内2か所で運営する母子の居場所「ひだまり」では、放課後子ども達を学校へ迎えに行き、家庭的な養育を提供しています。認可外保育施設「キッズルーム」では、支援が必要な乳幼児を日中預かり、保育を行っています。今年度は不登校気味になっている中高生男子を対象とした「通学型チャレンジ合宿」を試みます。                              |
| <b>さくら</b><br>(日光市 2004年11月設立)            | 高齢者や自力で調理のできない方に、カロリーや塩分を控えるなど、健康に配慮した食事を年間を通してお届けしています。ひとり暮らしの高齢者・老々介護宅の見守りを兼ね、食を通して地域の方が健康で明るく楽しく暮らしていけるよう年中無休で活動しています。   |
| <b>風車</b><br>(矢板市 2017年8月設立)              | 不登校や引きこもりで悩む子どもとその親のための居場所「風の家」を週1回運営しています。皆で一緒に食事を作り一緒に食べることで家族のような絆が生まれ、同じ悩みを聞いたり話したりすることで勇気と元気を持つことができ、一人で悩まず前向きになることができます。また不登校等で勉強に不安を抱えている子どものために、学習支援も行っています。地域や施設等で行われるイベントにも積極的に参加してボランティアを行うことで、地域との交流も生まれています。市内外にかかわらず、気軽に参加できる場を目指しています。 |
| <b>もうひとつの美術館</b><br>(那珂川町 2001年10月設立)     | 明治大正時代の面影を残した木造の旧校舎を再利用して、主にハンディキャップを持つ人の創る作品を展示紹介し「みんながアーティスト、すべてはアート」をコンセプトに、年齢・国籍・障がいの有無や専門家に問わず、アートを核に地域・場所や領域をつないでいく活動をしています。また今年度は2回の企画展示を開催し、展覧会ごとのテーマに沿い、既成の枠にとらわれない柔軟な発想から生まれた作品の魅力を紹介しています。   |
| <b>大山田ノンフェール・くらねえ</b><br>(那珂川町 2010年4月設立) | 2018年度に「かわせみ珈琲店」を開業し、地域住民との交流の場であると同時に、精神障がい、ひきこもり、DV等の相談や支援を行なっています。2019年度は精神障がい者の日中活動として、農作業を充実させ、住み慣れた土地が荒れることなく維持されることで地域の活力の維持に繋がる活動をしていきます。   |
| <b>古賀志山を守ろう会</b><br>(宇都宮市 2014年7月設立)      | 宇都宮県立自然公園の「古賀志山地」は、環境整備が未整備状態となっており、この間道迷いや転落事故が急増しています。「古賀志山を守ろう会」では安全に登山をしてもらえるように、旧跡説明板・道標・山座同定盤等の設置、登山道整備等の環境整備活動、滑落防止の補助用鎖・ステップ・緊急連絡時現在地番号の設置等の保全活動、ホームページ開設・会報誌発刊・活動記録公開等の啓発活動を行っています。今年度は、宇都宮県立自然公園地図の作成も計画しています。                              |
| <b>チャレンジド・コミュニティ</b><br>(宇都宮市 2007年3月設立)  | 様々なハンディキャップを持つ人とその家族が、地域社会で安心して生活できるよう、“自立”“参加”“協働”をキーワードに、発達支援・就労支援活動を行っています。主な活動内容として、ハンディキャップがある方の職業訓練や就労支援、絵画教室やパソコン教室等の子どもの発達支援、ハンディキャップがある子どもの保護者や関係者のための勉強会、公共交通機関を使用することが困難な方の移動支援等を行う障がい者福祉サービス事業等があります。                                     |
| <b>マロニエハウス会</b><br>(宇都宮市 2004年3月設立)       | 施設は栃木県立野沢養護学校(現のざわ特別支援学校)に在籍する生徒の保護者有志が中心となり「どんなに障がいが高くても一人の青年として輝く日々を送らせたい」という願いのもと、学校卒業後の受け皿として開所しました。デイケア事業では、在宅重度心身障がい児・者に通所してもらい、健康確認、日常生活動作等の機能訓練・感覚療法を行っています。また、市役所と連携を図りながらサービスニーズの把握に努め、医療的ケアの必要な利用者が毎年増えていることを鑑み「宇都宮市重症児医療的ケア支援事業」を実施しています。 |
| <b>青少年の自立を支える会</b><br>(宇都宮市 1997年7月設立)    | 社会的養護を必要とする青少年の自立支援を目的に里親型の自立援助ホーム「星の家」を運営しています。また2014年には家庭的養護の更なる深化を目指してファミリーホーム「はなの家」を開業しました。その後、在宅の親子の育て・育ちを支援するための子どもの居場所を開業し、現在に至っています。他にも児童虐待防止啓発のためのセミナーの開催、年に一度「星の家」まつりや「チャリティーコンサート」を開催しています。  |
| <b>自立生活センターとちぎ</b><br>(宇都宮市 2003年6月設立)    | 平成15年6月に任意団体として活動を開始し、どんなに重度な障がい者でも当たり前地域の中で生活できるように相談や情報提供を行ってきました。障がい児・者の方への相談事業を中心に、福祉サービスの計画・調整、ヘルパー養成講座、障がい理解の啓発活動、大学生の実習生受け入れ、学習会を開催しています。また、年3回の機関誌を発行し、バーベキュー大会、クリスマス会を通して、障がいのある方が集える場を提供しています。  |

|   |   |
|---|---|
| <b>筋痛性脳脊髄炎の会<br/>(通称ME/CFSの会)</b><br>(宇都宮市 2012年6月設立) | 筋痛性脳脊髄炎(慢性疲労症候群)の患者さんが、医療関係者や周囲の方から病気の正しい理解を得られるよう海外の最新情報をお届けし、安心して治療や必要なサービスを受けられるように、国会署名活動や厚生労働省・国会議員等への要望・陳情等の活動を通して、患者の救済のための医療制度や社会保障制度の確立を目指しています。日本の患者の実態を描いたドキュメンタリー映画が完成し、各地で順次上映しています。   |
| <b>オオタカ保護基金</b><br>(宇都宮市 2002年9月設立)                   | ワシやタカの仲間(ワシタカ類)は、食物連鎖の頂点に位置していることから、生態系の現状を知る指標となります。しかし、開発による生息地の改変や耕作放棄による餌場の減少などで、生息状況が悪化しつつあります。そこで生態系を保全、再生しながら生物多様性豊かな社会を構築することを目的に活動しています。また、自然観察会や自然体験活動、農業体験活動を通して、里山の豊かな自然や生き物の大切さを伝える活動を行っています。                                    |
| <b>宇都宮国際障がい者乗馬協会</b><br>(宇都宮市 2006年8月設立)              | 身体・知的・精神障がいを抱える方々が馬の世話や堆肥を利用した野菜作り等、その人に合った作業をしていく中で、社会の中で生活していくためのスキルの獲得ができるような支援をしています。また、交通機関の都合により通所を断念せざるを得なかった方にもサービスを提供できる、入居者同士が協力し合って暮らせる住宅「グループホームファミリア」を運営し、自立した日常生活ができるようになるための支援をしています。  |
| <b>大谷石研究会</b><br>(宇都宮市 2005年12月設立)                    | 宇都宮市民にとって「大谷石の文化」が生活の中で大きな役割を担ってきたことを再認識し、地域の誇れる「宇都宮のブランド」として後世に伝えていくことを目的に活動しています。大谷石の有効活用と地域資源化、および大谷地区の活性化と環境整備を図ると共に、歴史と伝統に育まれた「大谷石の文化」の研究、発掘、継承、普及に取り組み、国内外に向けてその活動の輪を広げ、宇都宮のまちづくりに貢献する活動をすすめています。                                       |
| <b>リスマイリー</b><br>(宇都宮市 2016年9月設立)                     | 保育園などに通っているお子さんが、発熱などで体調を崩しても、病児保育は施設そのものが少なく、利用したくても定員オーバーで利用できないことがあります。仕事を早退や欠勤しなくてはならなくなってしまうと会社での評価が低下し、給料に影響がでることもあります。そこで、働く親を支えるために、親御さんに代わってご自宅で保育をする「訪問型病児保育」を行っています。   |
| <b>ウイメンズハウスとちぎ</b><br>(宇都宮市 1996年8月設立)                | 女性の人権を守る視点から、暴力により傷ついた女性達が自分の力を取り戻し、新しい生活を始めるための支援や、暴力の中で育った子ども達が安全に安心して暮らすための支援を行っています。また、女性のためのカウンセリングや女性への差別や暴力のない社会を目指すための提言や啓発、DV防止や支援のための研修会や講師の派遣を行っています。  |
| <b>セブナーサリー</b><br>(宇都宮市 2014年1月設立)                    | 中途視覚障がい当事者と支援者が中心となり、障がい者と健常者の相互理解を深め、誰もが笑顔で暮らせるまちづくりを目指して活動しています。理解・啓発活動としてアイマスクを着けた調理体験「クッキングインザダーク」、フライングディスクゴルフなどのスポーツや活動が制限されがちな方の暮らしに潤いを感じられるように、誰もが参加できる体験型バスツアーを実施するなど、障がいの特性に合った活動に取り組んでいます。   |
| <b>スペシャルオリンピックス日本・栃木</b><br>(宇都宮市 2004年9月設立)          | 知的障がいのある人達(アスリート)に、日常的なスポーツトレーニングとその成果の発表の場である競技大会等を年間を通して提供し、自立と社会参加を応援する国際的なスポーツ組織です。アスリートへのプログラム活動等を通じ、様々な人々がお互いに尊重しあい、共に生きていく社会の実現を目指しています。SON・栃木では現在約200名のアスリートがスポーツトレーニングに参加しています。  |
| <b>うりずん</b><br>(宇都宮市 2012年3月設立)                       | 人工呼吸器や気管切開、経管栄養などの医療的ケアが必要な子ども(医療的ケア児)が増えています。利用できるサービスは乏しく、家族に多大な負担がかかっています。うりずんでは医療的ケア児と家族の支援として、日中のお預かり(日中一時支援等)やホームヘルプ、集団保育が難しい子どもの居宅訪問型保育、お出かけイベントなどを行い、どんな重い障がいがあっても、普通に暮らしていける社会の実現を目指しています。   |
| <b>KHJとちぎベリー会</b><br>(宇都宮市 2002年12月設立)                | 最近引きこもりの長期化高齢化が目立ってきており、実質の引きこもり人数は年々増えてきています。引きこもり、不登校、精神障がいなどを抱える本人とその家族に対し、学習会や月例会・訪問サポート・居場所作り・講演会・個別相談などに取り組み、メンタルヘルスケアにあたっています。また、引きこもり当事者やその家族が安心して集える「カフェ苺屋」を運営しています。   |
| <b>宇都宮子ども劇場</b><br>(宇都宮市 1974年7月設立)                   | 宇都宮子ども劇場は「いっぱい“すごい！”に出会う」を合言葉に、子ども向けの舞台鑑賞活動や自然体験活動の企画・運営を行っている団体です。子育て真っ最中のお母さんお父さんが協力し合い、会員全員がスタッフであり参加者として、親子で活動しているのが特徴です。また、地域の文化拠点として、他の団体や地域の人々と協力して子育て支援事業にも取り組み「とびっきりの子ども時代」を応援しています。   |
| <b>プロジェクト宙</b><br>(鹿沼市 2015年3月設立)                     | 鹿沼市を拠点に、こどものまち「ミニかぬま」・放課後学童クラブ・小学校長期休業中の子どもの居場所などの子育て支援事業を行う団体です。年間を通じて、子ども達の自主性、創造性を促し、生きる力を育む様々な体験事業を実施しています。こどものまちとは、子どもだけが自ら運営する仮想のまちで働き、遊びながら社会の仕組みを学ぶプログラムのことです。今年のテーマは「納税」でした。   |
| <b>鹿沼ファミリー劇場</b><br>(鹿沼市 1995年6月設立)                   | 文化的地域づくりと子どもの豊かな成長を目的に、子どもや大人が共に舞台鑑賞や文化・体験活動を通して、社会参画の促進と子育て支援に関する事業を行っています。また、鹿沼市の委託事業である、「鹿沼ファミリーサポートセンター」「鹿沼市つどいの広場」の運営等を行っています。さらに0歳から3歳の間の親子のふれあいが子どもの成長に大切という思いから、今年度は、乳幼児の親子向けの音楽鑑賞会や交流会も開催する予定です。                                     |
| <b>菊地ファミリーホーム</b><br>(益子町 2014年6月設立)                  | 生活支援の必要な家庭の子どもや家庭に恵まれない子どもの養育支援を行い、児童福祉の増進・子どもの健全育成に寄与することを目的として、小規模住居型児童養育事業(ファミリーホーム)を行っています。お預かりしているお子さん一人ひとりが健やかに成長できるよう愛情ある養育を提供すると共に、地域社会の一員として自立できるよう援助します。  |
| <b>蔵の街たんぼぼの会</b><br>(栃木市 2002年7月設立)                   | 「おもちゃ図書館」や「地域活動支援センター」「こどもの部屋」等の運営を通じ、障がい児・者、高齢者、児童等さまざまな人が交流しながら、人と人とが支え合う地域社会を作ることを目的に活動しています。今年度は船村徹氏が26年前に会のことを知り、全国の障がい児やそのご家族を元気に笑顔にしたいとの思いから作曲した応援歌をCD化し、年号が変わる令和元年にイベント等を通じて広めていくための活動にも取り組みます。                                       |
| <b>自然史データバンクアニマnet</b><br>(栃木市 2012年10月設立)            | 都賀町大柿の雑木林で活動しています。地産地消を基本に間伐材や山の土等を使用して「森カフェ」を毎月開催しています。森カフェは「やりたいこと」、「つくってみたいもの」を子どもや大人で話し合い開催しています。森が持つ可能性・森の恵み・非日常を五感で感じながら生き物の観察会や休耕田を活用し、材料を自分達の手で育てて調理する等の活動を通じ、様々な分野の人との交流を深めるなど、親子や世代間のコミュニケーション向上を図る取り組みをしています。今年度は石窯やウッドテラスを作る予定です。 |

|   |   |
|---|---|
| <p><b>栃木おやこ劇場</b><br/>(栃木市 2001年9月設立)</p>               | <p>「とびっきり子ども時代を！」を合言葉に、豊かな人間形成期の子どもが、子ども時代にしか感じるこのできない機会を持ち、また自己肯定感を持てるための環境づくりをするために「親と仲間と五感を使った体験活動」や「質の良い舞台芸術鑑賞活動」を創造的に企画・実行しています。子育てサポートとして、子育ての環境が孤立化してきている中で、身近なところに共感しあえる仲間や子育ての先輩がいる安心感を得られる取り組みも行っています。</p>  |
| <p><b>シュシュ</b><br/>(佐野市 2014年4月設立)</p>                  | <p>児童発達支援と放課後等デイサービスにおいて、乳幼児から青年期までの継続した支援をしています。「生まれてきてくれたことに感謝して、出会えたことに感謝して」障がいを持つ子どもが安心して育つ環境を整え、一人ひとりの可能性を伸ばす療育と共に、そのご家族が安心して生活し子育てできるように全般的なサポートをしています。これからも子どもの成長と共にサポート体制を広げていきます。</p>  |
| <p><b>まごの手</b><br/>(佐野市 2005年8月設立)</p>                  | <p>高齢の方や障がいをお持ちの方等、様々な援助を必要とされている方に、制度外の在宅福祉サービスや病院・買い物等の移送サービスを行っています。また、みなさんが気軽に寄れる地域の居場所ふれあいハウス「たんとんとん」を開所しています。お互いに助け合う思いを大切に、安心して暮らせる地域社会作りを目指しています。</p>   |
| <p><b>栃木県中途失聴・難聴者協会</b><br/>(下野市 2008年4月設立)</p>         | <p>中途失聴・難聴者が、聴覚に障がいがあることで困らないようにするために、障がいの正しい理解と補聴器や人工内耳、要約筆記といったコミュニケーション方法の正しい知識を伝え、その技術の習得・普及のための活動を行っています。また、イベントや学習会を開催して難聴者でも楽しめて知識が得られ、一般の方にも難聴障がいへの理解を広める活動をしています。</p>  |
| <p><b>アニメーション</b><br/>(足利市 2016年2月設立)</p>               | <p>放課後や長期休暇中は、子どもの自主性・社会性を育む上で重要な時間です。また異年齢集団の子ども同士の学び合いには、学校や家庭では体験できないことがたくさんあります。子どもの最善の利益と発達を保障すること、子どもを産み育てることに夢と希望を持てる社会を作ることを目的に、放課後児童健全育成事業として「富田学童クラブ」と「葉鹿学童クラブ」を運営しています。お昼やおやつを子どもと一緒に作ったり、行事を子ども達が考えたりと、“やりたい”“知りたい”“やってみよう”気持ちを大切に、子ども主体の児童クラブです。</p>       |
| <p><b>フードバンクとちぎ</b><br/>(小山市 2010年3月設立)</p>             | <p>貧困世帯が増加している中でフードバンク活動として、まだ安全に食べられるのに廃棄されてしまう食品を食品関連企業から無償で寄贈していただき、食品を必要とする人々や施設等に無償で提供しています。食品を提供することにより生活の向上や自立の手助けをすると共に、社会問題でもある食品ロスの削減を図る活動を行っています。</p>  |
| <p><b>子どもの育ちを支える会 さくらネット小山</b><br/>(小山市 2016年10月設立)</p> | <p>当法人では、子どもの居場所「おひさま」において、貧困や虐待等の状況下にある子ども達に、食事や入浴、衣服の洗濯、宿題のサポートなどの支援を行っています。(小山市からの受託事業)また、自主事業として、無料の食事支援や学習支援、物品等の提供、病院への同行支援等、個々のニーズに応じた支援を行っています。地域には、虐待が行われるほど困難な生活課題を抱えた子どもや家族を支援する人や場所、しくみがほとんどありません。これからも、貧困や虐待の連鎖をなくすために、活動を充実させていきたいと思えます。</p>              |
| <p><b>ビリーブ</b><br/>(小山市 2018年1月設立)</p>                  | <p>貧困や虐待で支援が必要な子どもに、食事・入浴・洗濯・学習支援等を行う子どもの居場所「シリウス」を運営しています。居場所は、子どもの“存在を願い、価値を尊重し、利益を配慮する”信頼できる大人とひとときを過ごす「もう一つの家」です。子ども達は、基本的な生活習慣が身につく、他の子やスタッフとの関わりを通じて社会性を習得していくにつれ、自己肯定感を取り戻していきます。シリウスでは誕生会や季節の行事を、長期休暇で家にこもりきりになってしまう夏休みには宿泊キャンプを行い、子ども達の経験値を増やすことを大切にしています。</p> |
| <p><b>サバイバルネット・ライフ</b><br/>(小山市 2006年6月設立)</p>          | <p>DV被害を受けた女性や子どもへの虐待などの問題をかかえた女性達に、ゆったりと心身を休めることのできる安全で安心できる場を提供し、自立支援と地域で安全に生きるための長期的、包括的支援を行っています。DV相談、カウンセリング、保護命令申請書や陳述書の記述、病院や警察、裁判所などへの同行支援や、DVをなくすための啓発活動、女性の人権を守るための提言や情報発信もしています。無料で相談やカウンセリングも受け付けています。</p>  |

※ 各団体の連絡先につきましては、お問い合わせください。 とちぎコープ生活協同組合 総合企画室 電話：028-634-5117(月～金 午前9時～午後6時)

## 4月度 理事会だより

### ●3月度のまとめ

- とちぎコープ全体の総事業高は20億8938万円で、経常剰余金は▲334万円でした。
- 1128人の新しい組合員さんをお迎えしました。
- 移動店舗の販売地域の拡大(増車)について確認されました。
- 社会貢献基金の廃止および社会貢献積立金の創設について確認されました。
- 2019年度コープデリ連合会「会員基本契約覚書別表」の改定について確認されました。
- 2018年度区域外組合員加入者の承認について確認されました。
- 2018年度末「自由脱退(みなし脱退)」処理について確認されました。
- 「就業規則」の改定について確認されました。

### ●2019年度EMS目標について報告されました。

- 2018年度のとちぎコープ内部統制の到達状況について報告されました。

### ●理事協議会報告

理事協議会では、各ブロックで組合員さんの声をもとに交流したものを、ブロックごとに報告し、ブロックから上がった組合員さん達の残念な気持ちに共感したり、その中で一つでも二つでも声が形になるよう、更に理事協議会で交流しています。今回はその中からコープデリ連合会に発信した2事例を紹介しました。

### ●栃木県生協連報告

- 2/12第5回理事会を開催。
- 農業と地域経済の現状と課題をテーマに定期学習会を開催。
- 小山市地産地消食育推進協議会に出席。
- 子どもの貧困を考える子どもSUNSUNプロジェクト会議に出席。

- 食の安全ネットワークでは、輸入食品の監視指導の現況を学習。宇都宮市食品安全推進計画(案)へパブリックコメントを提出。
- 県の委託事業とちぎ消費者カレッジ今期受講者は1,337名。
- 日本生協連の大規模災害対策協議会に出席。テーマは地震発生時の地域連携プログラム等。

### 3月度の経営状況について

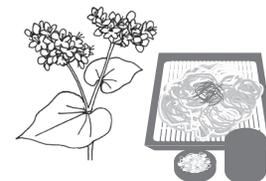
| ●3月度(単月) |           | ●2018年度累計(4月度～3月度) |         |
|----------|-----------|--------------------|---------|
|          | 実績        | 実績                 |         |
| 総事業高     | 20億8938万円 | 271億5464万円         |         |
| 事業総剰余金   | 5億4674万円  | 67億2580万円          |         |
| 事業経費合計   | 5億6674万円  | 64億5076万円          |         |
| 経常剰余金    | △334万円    | 4億2684万円           |         |
| 組合員数     | 25万7399人  | 平均出資金              | 2万9489円 |

## HOT!情報

### 八溝そば街道そばまつり

第9回八溝そば街道そばまつりが開催されます。大桶運動公園を会場に、八溝そば街道推進協議会加盟店8店舗の他、日光例幣使そば街道から日光手打ちそばの会や鹿沼そば振興会も出店し、風味豊かなそばを味わえます。ご当地グルメ、そば打ち道具、直売所による農産物の販売も行いますので、是非お越しください。(内容は変更になる場合がございます。)

日時：2019年5月18日(土)～19日(日)午前10時～午後3時  
 会場：大桶運動公園(栃木県那須烏山市大桶1926-9)  
 主催：八溝そば街道推進協議会そばまつり実行委員会  
 電話：一般社団法人那須烏山市観光協会 0287-84-1977



栃木県の中山間地域紹介  
～那須烏山市～

